

平成30年度 事業報告書

事業年度 平成30年4月1日～平成31年3月31日



学校法人 聖マリア学院

St. Mary's Educational Foundation

Fides 【 信仰 】

Spes 【 希望 】

Caritas 【 愛 】

～ 連綿と受け継がれる「カトリックの愛の精神」 ～

聖マリア学院の歴史の源泉は、大正4年、井手内科医院の開設にはじまります。その院長、井手用蔵は熱心なカトリック信者で、貧しく医療に恵まれない人々を長年に亘り支援してきました。

学校法人聖マリア学院の創設者である、初代理事長の井手一郎は、父・用蔵の志を継ぎ、後の本法人設立母体となる、医療法人雪ノ聖母会 聖マリア病院（現・社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院）を開設し、その基本方針を、カトリックの愛の精神に基づく医療と教育の普及としました。

本学院の教育理念が、カトリックの愛の精神に基づく教育研究の実践である所以であり、その精神は、現在に至るまで連綿として受け継がれています。

信 望 愛



目次 ~Contents~

I. 法人の概要

1. 法人の概要
2. 建学の精神
3. 教育理念
4. 沿革
5. 役員・評議員
6. 設置する学校・学部等
7. 入学定員及び学生数
8. 教職員
9. 聖マリアグループ

II. 事業の概要

1. 基本方針
2. 平成30年度に実施した主な事業内容
3. 平成31年度入試結果（平成30年度実施／平成31年4月入学者）
4. 卒業生の主な進路状況
5. 国家試験の合格状況
6. 学年暦

III. 財務の概要

1. 学校法人会計の概要及び企業会計との違い
2. 「資金収支計算書」の概要
3. 「事業活動収支計算書」の概要
4. 「貸借対照表」の概要
5. 有価証券・特定金銭信託の時価情報
6. 主な施設設備の整備状況
7. 主な事業計画履行状況
8. 大科目の経過年度比較表
9. 主な財務比率の経過年度比較表
10. 平成30年度決算総評

I. 法人の概要

1. 法人の概要

法人名 学校法人聖マリア学院
(St. Mary's Educational Foundation)
代表者 理事長 井手 三郎
所在地 〒830-8558 福岡県久留米市津福本町4-2-2番地
電話番号 0942(35)7271
設立年月日 昭和57(1982)年11月5日

2. 建学の精神

カトリックの愛の精神

主イエス キリストの限りなき愛のもとに、常に弱い人々のもとに行き、常に弱い人々と共に歩むことです

3. 教育理念

聖マリア学院大学は「カトリックの愛の精神」に基づく教育・研究を行って、豊かな人間性と深い教養を具え、高度の看護知識と技術に基づく科学的な看護実践能力を養い、広く人間社会の健康に寄与できる篤実有能な人材を育成することを目的としています。

4. 沿革

昭和 27 (1952) 年	医療法人雪ノ聖母会 設立 (後の学校法人聖マリア学院設立における母体となる法人) (平成 21 年より「社会医療法人雪の聖母会」に法人格変更)
昭和 28 (1953) 年	医療法人雪ノ聖母会 聖マリア病院 開設
昭和 48 (1973) 年	医療法人雪ノ聖母会 聖マリア高等看護学院第 2 科看護専門課程 設置 (後に聖マリア看護専門学校へと改組)
昭和 51 (1976) 年	医療法人雪ノ聖母会 聖マリア高等看護学院第 1 科看護専門課程 設置 (後に聖マリア看護専門学校へと改組) 聖マリア高等看護学院を聖マリア看護専門学校と改称
昭和 57 (1982) 年	学校法人聖マリア学院 設立 (聖マリア看護専門学校の設置者を医療法人雪ノ聖母会から移譲)
昭和 59 (1984) 年	聖マリア看護専門学校に保健学科、助産学科 設置 (後に聖マリア学院短期大学へと改組)
昭和 61 (1986) 年	聖マリア学院短期大学 看護学科 開学 (後に聖マリア学院大学へと改組)
平成元 (1989) 年	聖マリア学院短期大学に専攻科(地域看護学専攻・ 助産学専攻) 設置
平成 2 (1990) 年	同上地域看護学専攻に国際看護コース 開設
平成 7 (1995) 年	聖マリア学院医療福祉専門学校 介護福祉学科 開校
平成 18 (2006) 年	聖マリア学院大学 看護学部 開学
平成 21 (2009) 年	聖マリア学院短期大学(看護学科・専攻科) 閉学 聖マリア学院医療福祉専門学校 介護福祉学科 閉校
平成 22 (2010) 年	聖マリア学院大学大学院看護学研究科 開設
平成 25 (2013) 年	聖マリア学院大学に専攻科(助産学専攻) 設置

5. 役員・評議員

平成31年3月31日現在

■理事／定員：6～8名 現員：6名 任期：3年

区分	氏名	選任条項
理事長	井手 三郎 (イデ サブロウ)	理事の互選
理事 (常勤)	井手 三郎 (イデ サブロウ)	学長
理事 (常勤)	井手 信 (イデ ノブ)	評議員
理事 (非常勤)	黒岩 中 (クロイワ アタル)	評議員
理事 (非常勤)	ドーボン・マーゲリーテ	評議員
理事 (非常勤)	牧山 強美 (マキヤマ ツヨミ)	学識経験者
理事 (常勤)	戸塚 幹栄 (トツカ ミキエイ)	学識経験者

■監事／定員：2名又は3名 現員：2名 任期：3年

区分	氏名	選任条項
監事 (非常勤)	山田 隆 (ヤマダ タカシ)	理事会選出候補者のうち 評議員会同意、理事長選任
監事 (非常勤)	永松 雄一郎 (ナガマツ ユウイチロウ)	理事会選出候補者のうち 評議員会同意、理事長選任

■評議員／定員13～17名 現員：15名 任期：3年

氏名	選任条項
井手 三郎 (イデ サブロウ)	法人職員
石井 和弘 (イシイ カズヒロ)	法人職員
安藤 満代 (アンドウ ミチヨ)	法人職員
井手 悠一郎 (イデ ユウイチロウ)	法人職員
下川 さえ子 (シモカワ サエコ)	卒業生
日高 艶子 (ヒダカ ツヤコ)	卒業生
井手 健一郎 (イデ ケンイチロウ)	実習施設職員
橋口 ちどり (ハシグチ チドリ)	実習施設職員
中島 成子 (ナカシマ シゲコ)	実習施設職員
島 弘志 (シマ ヒロジ)	実習施設職員
井手 信 (イデ ノブ)	学識経験者
上野 正二 (ウエノ ショウジ)	学識経験者
黒岩 中 (クロイワ アタル)	学識経験者
廣田 良夫 (ヒロタ ヨシオ)	学識経験者
ドーボン・マーグリーテ	学識経験者

6. 設置する学校・学部等

聖マリア学院大学 看護学部／専攻科 助産学専攻
(St. Mary' s College)

所在地：福岡県久留米市津福本町422番地

聖マリア学院大学大学院 看護学研究科
(The Graduate School of St. Mary' s College)

所在地：福岡県久留米市津福本町422番地

7. 入学定員及び学生数

平成30年5月1日現在

○聖マリア学院大学

学部・学科	年次	入学定員 (収容定員)	編入定員 (収容定員)	入学者数	在籍者数
看護学部 (4年課程)	1	100	***	115	116
	2	(100)	***	***	112
	3	(100)	***	***	105
	4	(100)	***	***	115

合計	収容定員	400	在籍者数	448
----	------	-----	------	-----

○聖マリア学院大学専攻科

学部・学科	年次	入学定員 (収容定員)	編入定員 (収容定員)	入学者数	在籍者数
助産学専攻 (1年課程)	1	15	***	13	13

合計	収容定員	15	在籍者数	13
----	------	----	------	----

○聖マリア学院大学大学院

研究科	年次	入学定員 (収容定員)	編入定員 (収容定員)	入学者数	在籍者数
看護学研究科 (2年課程)	1	12	***	5	5
	2	(12)	***	***	15

合計	収容定員	24	在籍者数	20
----	------	----	------	----

在籍者数合計	-----	481
--------	-------	-----

8. 教職員

平成30年5月1日現在

■教員

	聖マリア学院大学 看護学部	聖マリア学院大学大学院 看護学研究科
教授	12	12（併任）
准教授	6	6（併任）
講師	9	9（併任）
助教	8	0
助手	4	0
合計	39	27（併任）

■職員

	法人本部 事務局	聖マリア学院大学 看護学部
職員	2	18
臨時職員	0	0
合計	2	18

※上記の他、法人本部事務局長が聖マリア学院大学より兼務

9. 聖マリアグループ

○社会医療法人雪の聖母会

聖マリア病院・聖マリアヘルスケアセンター

昭和28年の開設以来、「カトリックの愛の精神」に基づいた保健医療活動を行っており、聖マリアグループの中核を成す法人です。救命救急センターを中心として、地域に根ざした医療を目指す総合病院として、41診療科、1,097床の聖マリア病院を運営しております。

平成26年10月には、回復期リハビリ病棟・療養型病棟、人間ドッグ・内視鏡センター、透析センターの3部門（5診療科）から構成される聖マリアヘルスケアセンター（198床）を開院しました。

○公益財団法人福岡県すこやか健康事業団

平成21年4月に、財団法人九州産業衛生協会と福岡県対がん協会が合併し発足しました。

従来、九州産業衛生協会が行ってきた、労働・環境衛生や人間ドックなどに加え、がん検診と予防に関する啓発活動などを行い、人々の健康づくりと福祉の向上への貢献を目指しています。

○社会福祉法人平和の聖母

作業能力を持ちながらも、雇用されることの困難な障害者の方の社会活動への積極性をお手伝いする障害者支援施設「ウェルフェア MARIA」、「まちづくりワークショップ MARIA」や高齢者向けの施設「ケアハウスメゾン MARIA」「デイサービスセンターメゾン MARIA」などの運営を行っています。

平成29年1月には、18名収容の認知症高齢者グループホーム「グループホームメゾン MARIA」を設置し、専門スタッフによるケアを実施しております。

○株式会社サンループ

聖 MARIA グループにて蓄積した医療現場での経験と実績を基に、人材派遣・業務請負・紹介予定派遣・人材紹介事業を行っています。

また、医療現場が直面しているさまざまな課題解決のための医療コンサルティングも実施しています。

○特定非営利活動法人 ISAPH (アイサップ)

聖 MARIA 病院の長年にわたる国際協力活動から生まれました。

それまで、聖 MARIA 病院で実施してきた国際協力活動の手法を活かして新たな活動を展開する NPO 法人です。

ラオス（東南アジア）やマラウィ（アフリカ）を中心に、地域保健活動、災害救急医療支援、保健人材育成支援などを行っています。

○学校法人ありあけ国際学園

保健・医療・福祉分野の経営を担う人材を育成することを目的とした「保健医療経営大学」を運営しております。幅広く活躍できる能力が修得できる充実したカリキュラムや、10万㎡（3万坪）という広大な地にゆとりある空間がちりばめられたキャンパスも魅力のひとつです。

○雪の聖母会健康保険組合

聖マリアグループ各法人（一部を除く）に勤務する職員同士の相互扶助を目的に、平成20年12月に発足しました。

病気やけがをしたときの生活保障となる「保険給付」、日頃の健康増進を目的とした「保健事業」を展開し、職員間の生活上の不安を少しでもなくしていけるよう努めています。

Ⅱ. 事業の概要

1. 基本方針

大学をはじめとする高等教育機関を取り巻く状況は、主として学齢人口の減少に伴う競争的環境下に置かれ、各機関は教育・研究組織としての経営方針・戦略を明確化し、内外に示していくことが求められております。

教育・研究と、経営・管理の両軸が相互に有機的に機能し、中長期的視野に立ったより実践的な目標の明示と、それを実現する組織的行動、また、効果的な点検・評価体制の確立が必須となっているものです。

このことは、今後、ますます多様化することが予想される学生のニーズに的確に対応するため、各大学等に期待される役割・機能を十分に踏まえた教育や研究の推進を図るとともに、社会との連携を推進しながら、個々の機関が、その個性・特色を一層明確にしていかなければならないことを意味しています。

本学院におきましては、設立理念「カトリックの愛の精神」に基づく教育・研究の実践を堅持、継承し、“student focused education（学生に焦点を当てた教育の実践）”、さらには“enrollment management（入学前～在学中～卒業後の一貫した総合学生支援策等）”を主眼として、中長期事業計画（理事会・評議員会決議）を踏まえた各種事業に取り組んで参りました。

2. 平成30年度に実施した主な事業内容

平成30年度も、本学院が設置する聖マリア学院大学（以下、本学）におきまして、様々な取り組みを実施いたしました。

これらの取り組みは、昨年度に実施した開学10周年記念事業による成果を踏まえ、本学全体のスローガンに「地域ファースト」を掲げ、今後の新たな方向性のもとに実施したものであります。

また、7年ぶりに大学機関別認証評価を受審し、本学の現状を振り返るとともに、看護学部定員増、学内組織の新設などが行われ、中長期計画を基に将来の本学の在り方を考えながら、基礎を固める1年となりました。

以下に、「経営・管理」、「教育・研究」、「国際交流」及び「地域貢献」を枠組みとして主な事業項目の概要を示します。

①本学の新たな方針 ～地域ファースト～

今後の本学の方針として、設立理念の「カトリックの愛の精神」に基づき「地域ファースト」の展開を行うことが、学長より示されました。

具体的には、今後の社会情勢の変化に対応するために、学内組織の再編成、グローバルな視点で地域への様々な事業の展開、それらの事業への学生の参加などを通して、大学改革を推進するものです。

これらの方針は、今後の本学の個性や特色となり、本学の存在意義を明確にし、将来的に本学の展開に資するものと考えております。

②学内組織の新設

これまで本学では、建学の精神である「カトリックの愛の精神」を講義、学内行事、公開講座等を通して、教職員、学生、地域の皆様へ伝えてまいりました。

そのような中で昨年度、「Misericordia et Caritas ～いつくしみと愛～」をテーマに開学10周年記念事業を実施したところですが、一連の事業を通じて、建学の精神を「いつくしみと愛」の観点から見直すことにより、さらなる具現化ができるものと判断し、それらを実践すべく、4月に「キリスト教文化研究所」「ロイアカデミア看護学研究センター」を新設いたしました。

キリスト教文化研究所は、キリスト教全般における理念や歴史を探求し、キリスト教文化の教育研究の充実を図ることを目的としています。

ロイアカデミア看護学研究センターは、本学の教育の特色である「ロイ適応看護モデル」を基に、「いつくしみ」「ケアリングと愛」を看護教育と看護実践の観

点から探求し、看護学の発展に寄与することを目的としています。

ロイ適応看護モデルはキリスト教的人間観を基盤としていることから、両機関による活動を通じて、建学の精神を具現化しながら次の世代への継続するための方法を模索してまいります。

③大学機関別認証評価受審

全ての高等教育機関は7年以内ごとに文部科学大臣が認証する評価機関の評価を受けることが法律で義務付けられており、本学も、公益財団法人日本高等教育評価機構（以下、J I H E E）により認証評価を受審いたしました。本学の認証評価受審は、平成23年度に続いて7年ぶり2度目となります。

「使命・目的等」「学生」「教育課程」「教員・職員」「経営・管理と財務」「内部質保証」において、J I H E Eが定める基準に適合しているか否かを、書面及び実地調査により評価されます。

本学においては特に、重層的な学修支援体制、図書館の機能性の充実、オスキーへの実習指導者の参加による実践能力向上などの取り組みが高く評価され、J I H E Eが定める評価基準に適合していると認定されました。

詳細はJ I H E Eのホームページに掲載されている「認証結果報告書」を参照ください。

https://www.jiheer.or.jp/publication/result_report.html

④看護学部定員変更認可

平成31年度（令和元年度）より看護学部の入学定員を100名から110名へ、収容定員を400名から440名への変更を文部科学大臣へ申請しており、7月2日付で認可されました。

高度化・複雑化する保健医療福祉の現場に対応可能な高度の看護知識と看護実践力を備えた看護師を育成することが本学における社会的使命であると考え、今後も質の高い人材育成に努めてまいります。

⑤学修施設の拡充 ～ラウンジ開設～

7号館のオープンスペース及び旧図書館の有効活用と、自学学修及び学修支援の場の拡充を目的に、学内に3ヶ所のラウンジを開設しました。

フランシスコ・ラウンジにはアッシジの聖フランシスコ、テレサ・ラウンジにはマザー・テレサの写真がそれぞれ掲示され、静かな環境で学びたい学生のための施設になっています。学生ラウンジは約50名収容可能で、一度に7組がグル

ープ学修することができる場になっています。

図書館のラーニング・コモンズと合わせ、学生それぞれが自身のスタイルに合わせて学べる環境を整えています。



テレサ・ラウンジ



学生ラウンジ

⑥グローバル・スタディーズコース開設

本学では、国際社会に貢献できる能力を養うことを教育目標の一つに掲げ、全学生を対象とした国際看護・国際保健・多文化尊重・語学に関する科目を開設しています。更に国際看護の学びを深めたい学生には「国際看護コース」を設け、世界規模での保健医療福祉の現状や課題、取組みについて学び海外における実習（フィールドスタディ）を実施しています。

平成30年度からは、新たに「グローバル・スタディーズコース」を開設し、看護学部1年生6名が履修を開始しました。本コースでは保健医療福祉分野に関する学びに限定せず、語学コミュニケーション力、多様な文化や価値観の存在を受容し協働する姿勢を学び、更に海外における語学研修を実施します。

引き続き、グローバル化が進む社会において活躍できる人材の育成に取り組んでまいります。

⑦国際交流

本年度も多くの国際交流活動が実施されました。

1) フランシスコ・ボランティアキャンプ

第3回目となるフランシスコ・ボランティアキャンプが、8月4日～8月11日の8日間、台湾・高雄市を拠点に開催され、日本・韓国・台湾の3ヶ国から18大学・130名の教員・学生・スタッフが参加しました。

本学からは4名の学生が参加し、キャンプ開催中のグループリーダーや補佐役などに従事しました。各所での作業やグループでの活動を通じて、ボランテ

ィア受入施設の方や参加者同士の異なる文化的背景を越えた交流が生まれました。



フランシスコ・ボランティアキャンプ

2) フィールドスタディ

本年度のフィールドスタディは、7月28日～8月9日にフィリピン、9月2日～14日にラオスとタイにおいて、計12名の学生が参加しました。

フィリピンにおいては、カノッサ修道女会において家庭訪問や子どもたちとの触れ合いを通して「豊かに生きるということ」を考える時間を持ち、カノッサカレッジで実習を行い、マザーテレサの家において施設利用者の移送や食事介助、洗濯などのボランティア活動を行いました。

ラオスでは、WHO（世界保健機関）のラオス事務所勤務の日本人医師により、ラオスにおける母子保健の現状について講義いただきました。また、本年度は初の試みとして、首都ビエンチャンから車で7時間の農村の民家にお伺いし、現地での生活を体験するプログラムも実施しました。

タイでは、HIV／エイズ対策が進んでいる国ということもあり、エイズ患者のホスピスや、を訪問しました。その後、エイズに関する講義を受け、続いてタイ赤十字社のエイズ研究センター、元スラム地域のエイズ孤児を支援する施設、地域保健センターを訪問しました。



フィールドスタディ（ラオスにて）

3) 韓国からの学生受入れ

7月2日～6日に、釜山カトリック看護大学（CUP）の国際看護実務実習として学生・教員計11名を受け入れました。また1月15日～20日に、韓国カトリック看護大学（CUK）及び仁川カトリック看護大学（ICCU）より学生・教員計15名の日本研修を受け入れました。

本年度は初の試みとして、各大学による聖マリア病院の見学に本学学生を同行させるプログラムを実施しました。「アカデミック交流」と位置付けたこの試みにより、同行した本学学生にとっても、韓国と日本における医療・看護システムの違いを知るなど、学びの多い機会となったようです。



研修の様子

4) 交流協定締結

10月30日に、韓国・安東市の Catholic Sangji College と交流協定を締結いたしました。

Catholic Sangji College は、看護、社会福祉、作業療法等の学科を有する大学で、本学と共通の”カトリック理念”の下、両大学における学生、教職員間の交流を推進していくことの合意がなされました。



締結式の様子

5) JICA「アフリカ母子保健コース」

毎年採択されている独立行政法人国際協力機構（JICA）の“青年研修事業”受託業務ですが、本年度は「アフリカ母子保健コース」に採択され、11月7日～19日に、12ヶ国・13名の研修員をお迎えしました。

妊産婦死亡率の改善など、研修員の母国が抱える問題解決の一助となるべく、日本における母子保健制度、助産教育、災害医療、ジェンダー、DV、家族計画に関する講義や、論理的な問題解決の手法についてのレクチャーを行いました。

また、今回も研修中にナーシングキャリアカフェを実施し、本学学生、教職員との交流の場を設けました。

6) ASEACCU

昨年度加盟したASEACCU（The Association of Southeast and East Asian Catholic Colleges and Universities）の会合が8月に広島市で開催され、本学からは学生プログラムに学生2名、教職員プログラムに教員2名が参加しました。

学生プログラムにおいては、主に原爆と平和についての講義やフィールドワーク、意見交換、自国を様々な形でアピールするピース・コンサートが行われ、参加した加盟大学（8ヶ国・51大学）の学生との交流を行いました。

7) アメリカ研修旅行

3月17日から24日まで、希望者参加のアメリカ研修旅行が行われ、8名の学生が参加しました。姉妹校であるMount Saint Mary's Universityをはじめ、各施設の見学や学生との交流を行い、海外の看護や医療について見聞を深める機会となりました。



アメリカ研修旅行

このように多岐にわたる本学の国際交流事業は、今後も本学における諸活動の核として継続してまいります。

⑧まちなか保健室・ほっとステーションマリア

地域貢献の一環として久留米市内商店街の「一番街プラザ」に開設された、無料健康相談コーナー「まちなか保健室・ほっとステーションマリア」は、平成21年2月の開設から10年を迎え、相談件数は10年間で延べ7448名となりました。

広く、市民に開かれた健康相談窓口として、また多世代間の交流スペースとして、その所期の役割を果たしつつあることから、この10年目を契機に、次年度以降、開設場所を移転し、新たな活動を展開して参ります。



ほっとステーションマリア

⑨被災地支援（ボランティア派遣等）

昨年度に引き続き、本年度も東日本大震災の被災地へボランティアを派遣しました。本年度は学生8名を宮城県へ派遣し、漁業・農業支援、コミュニティ支援などを行いました。

⑩公開講座の実施

平成20年度から例年開催している公開講座も11年目を迎えました。本年度は本学全体のスローガンである「地域ファースト」を公開講座においても具現化できるよう、「地域とともによりよく生きる」をテーマに5回シリーズで開催しました。

「食習慣の変化による健康への影響」「障害者」「育児」「エンド・オブ・ライフ」「家族」の視点から、それぞれのコミュニティの中で、互いの存在を尊重しながらどのように生きていくべきか、市民の皆様とともに考える機会としました。



第1回の様子



第5回の様子

平成30年度公開講座実施内容

- 第1回／「健康行動について 一食の外部化の視点から」
講師：聖マリア学院大学 教授 洲崎好香
- 第2回／「障害で生涯地域とつながり共に生きる」
講師：輪をつくろうプロジェクト 代表 藤野薫 氏 他
- 第3回／「おむつなし育児」
講師：聖マリア学院大学 講師 川上桂子
- 第4回／「自分らしく生きるために自分らしく旅立つためにできること」
講師：聖マリア学院大学 教授 中村和代
- 第5回／「我が子と生きる日々をよりよく生きる」
講師：日本カトリック神学院福岡コレジオ院長 森山信三 氏

⑪外部資金の獲得状況

本学では外部研究資金獲得を全学的に励行しています。本年度も前年度に引き続き、多数の科学研究費を獲得しました。

■科学研究費補助金（日本学術振興会）

採択 19 件 / 助成金額 4,570,000 円

（内、研究分担金 採択 11 件 / 助成金額 1,220,000 円）

※前年度からの繰越金は除く

■私立大学等経常費助成（国庫補助）

補助金額 120,563,000 円

3. 平成31年度入試結果

平成30年度実施分／平成31年4月入学者

○聖マリア学院大学

<看護学部看護学科>

区分	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
推薦(系属校)	若干名	2	2	2	2
推薦(指定校)	35名	40	40	40	40
推薦(公募制:前期)		51	50	35	29
推薦(公募制:後期)	5名	22	20	9	6
社会人	若干名	1	1	1	0
学士・短期大学士	若干名	0	0	0	0
一般	54名	146	140	78	29
センター利用(前期)	10名	37	20	9	5
センター利用(後期)	5名	4	4	1	0
合計	110名	303	277	175	111

<専攻科助産学専攻>

区分	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
推薦	10名	14	14	10	10
一般(前期)	5名	10	10	5	4
一般(後期)		4	4	1	1
合計	15名	28	28	16	15

○聖マリア学院大学大学院

<看護学研究科>

区分	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般(秋期)	12名	1	1	1	1
社会人(秋期)		0	0	0	0
一般(春期)		0	0	0	0
社会人(春期)		4	4	4	4
合計	12名	5	5	5	5

4. 卒業生の主な進路状況

○聖マリア学院大学
(平成31年3月卒業生)

区分	就職者数	主な進路先
県内病院	64	聖マリア病院・聖マリアヘルスケアセンター、福岡大学病院 など
県外病院	32	佐賀大学医学部附属病院、日本医科大学附属病院、東京医科大学病院など
医療機関外	2	訪問看護ステーションきずな、共生の里
進学	10	聖マリア学院大学専攻科助産学専攻、熊本大学養護教諭特別学科 など

○聖マリア学院大学専攻科助産学専攻
(平成31年3月修了生)

区分	就職者数	主な進路先
県内病院	6	聖マリア病院・聖マリアヘルスケアセンター など
県外病院	6	国立病院機構佐賀病院 など

○聖マリア学院大学大学院
(平成30年9月・平成31年3月修了生)

区分	就職者数	主な進路先
—	—	修了生全員が社会人学生のため、該当者なし

※上記はいずれも、新卒者のみの数値である。
(社会人学生は除く)

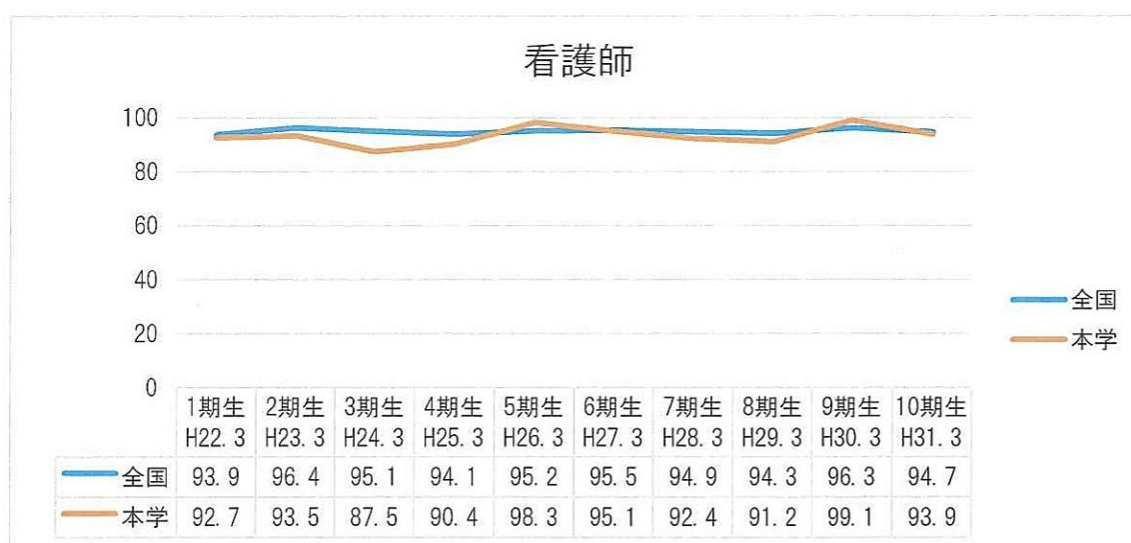
5. 国家試験の合格状況

平成31年2月実施

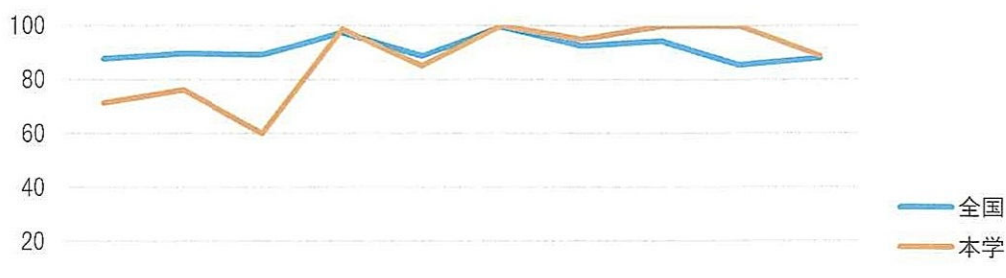
	本学における結果（名）	合格率（％）
	合格者数 / 受験者数	本学 / 全国
看護師	107 / 114	93.9 / 94.7
保健師	16 / 18	88.9 / 88.1
助産師	13 / 13	100.0 / 99.9

※上記はいずれも新卒者のみの数値である。

～合格率の推移～

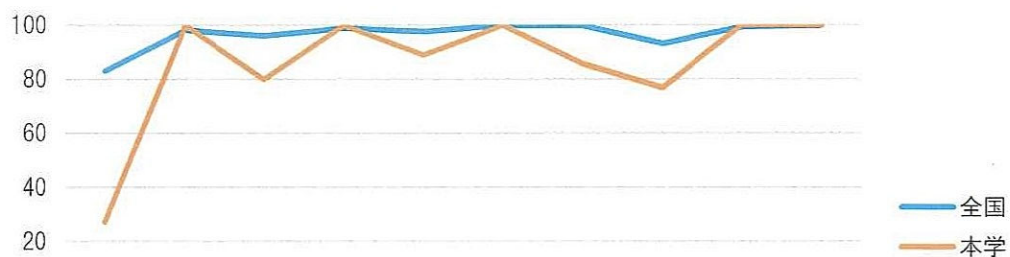


保健師



	1期生 H22.3	2期生 H23.3	3期生 H24.3	4期生 H25.3	5期生 H26.3	6期生 H27.3	7期生 H28.3	8期生 H29.3	9期生 H30.3	10期生 H31.3
— 全国	87.8	89.7	89.2	97.5	88.8	99.6	92.6	94.5	85.6	88.1
— 本学	71.4	76.3	60	98.7	85.1	100	95	100	100	88.9

助産師



	1期生 H22.3	2期生 H23.3	3期生 H24.3	4期生 H25.3	1期生 H26.3	2期生 H27.3	3期生 H28.3	4期生 H29.3	5期生 H30.3	6期生 H31.3
— 全国	83.2	98.2	96	98.9	97.6	99.9	99.8	93.2	99.4	99.9
— 本学	27.3	100	80	100	88.9	100	85.7	76.9	100	100

※上記はいずれも新卒者のみの数値である。

※助産師国家試験は、平成25年3月卒業生以前は看護学部の結果、
平成26年3月修了者以降は専攻科の結果である。

6. 学年暦

4月 2日 (月)	学年はじめ
4月 4日 (水)	平成30年度入学式
4月 5日 (木) ~10日 (火)	新年度オリエンテーション
4月 7日 (土)	国家試験フェア (看護学部4年)
4月11日 (水)	前期開講
4月14日 (土)	健康診断
4月20日 (金)	新入生歓迎行事
7月中旬	前期単位認定試験 (看護学部3年)
7月下旬	前期単位認定試験 (看護学部1・2年)
8月 1日 (水)	夏期休暇開始
8月10日 (金)	国家試験フェア (看護学部3年)
9月15日 (土)	夏期休暇終了
10月 1日 (月)	後期開講
10月13日 (土)	召命のつどい (看護学部1年)
10月20日 (土)	やすらぎのつどい (看護学部4年)
11月 2日 (金)	聖マリア合同慰霊祭
11月10日 (土)	学院祭
12月 8日 (土)	創立記念日 (無原罪の聖マリアの祭日)
12月22日 (土)	第69回聖マリア医学会研究会
12月25日 (火)	合同クリスマス
12月26日 (水)	冬期休暇開始
1月10日 (木)	冬期休暇終了
1月下旬~2月上旬	後期単位認定試験 (看護学部2年)
2月上旬	後期単位認定試験 (看護学部1年)
3月 2日 (土)	平成30年度学位授与式・修了式
3月10日 (日) ~17日 (日)	米国研修旅行

Ⅲ. 財務の概要

1. 学校法人会計の概要及び企業会計との違い

学校の経営に伴う経理処理については、学校法人会計基準（文部科学省令）により定められており、主要な財務計算書類として「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」及び「貸借対照表」の作成が義務付けられています。

企業の財政構造が、「モノ」を生産・販売することにより投資した資本を回収するとともに利潤を獲得し、獲得した利潤により新たな設備投資や既存の設備の改修が可能となる「生産経済体」であるのに対し、学校法人は、学生が入学することで学納金により収入を確保できる一方、支出が増加した場合、それに見合った収入の増加を図ることが難しい「消費経済体」です。

企業会計の目的が営利目的の事業活動の成果と財政状態を利害関係者に開示するところにあるのに対し、学校法人会計は財政面から学校経営における教育研究活動の健全性を測定し、開示することを目的としています。

	学校法人会計	企業会計
事業の目的	教育研究活動	利潤獲得のための経済活動
財務諸表 (計算書類)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資金収支計算書 ・ 活動区分資金収支計算書 ・ 事業活動収支計算書 ・ 貸借対照表 	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャッシュフロー計算書 ・ 損益計算書 ・ 貸借対照表

以下に、各計算書の概要を記し、平成30年度の本法人の決算につきご報告します。

2. 「資金収支計算書」の概要

当該会計年度の諸活動に対する全ての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金（現金預金）の収入及び支出のてん末を明らかにするものです。

また、内訳表と併せ会計基準改正により新たに「活動区分資金収支計算書」を添付することになりましたが、これは企業会計でいえば「キャッシュ・フロー計算書」に相当するものになります。

主な収入（科目説明）

学生納付金収入（学生からの授業料・入学金等収入）	：	784,380千円
補助金収入（国等からの助成金）	：	120,563千円
前受金収入（翌年度に入学予定の学生からの入学金、授業料等）	：	141,739千円
収入の部合計		： 3,140,555千円

主な支出（科目説明）

人件費支出（教職員に支払われる給与・賞与）	：	547,531千円
教育研究経費支出（学生の学習支援、課外活動費、教育研究活動費等）	：	172,461千円
管理経費支出（法人運営に係る費用、学生募集活動費用等）	：	69,525千円
設備関係支出（教育研究用の機器備品、管理用の機器備品、図書等を 取得するための費用）	：	35,162千円
資産運用支出（将来を見据え資金を積立・運用するための支出等）	：	128,000千円
支出の部合計		： 3,140,555千円

資金収支計算書

(単位；円)

資金収入の部		資金支出の部	
科 目	30年度決算額	科 目	30年度決算額
学生納付金収入	784,380,000	人件費支出	547,531,069
手数料収入	11,500,380	教育研究経費支出	172,460,646
寄付金収入	31,230,000	管理経費支出	69,525,344
補助金収入	120,563,000	施設関係支出	0
資産売却収入	100,000,000	設備関係支出	35,161,704
付随事業・収益事業収入	8,052,000	資産運用支出	128,000,000
受取利息・配当金収入	3,939,495	その他の支出	40,412,710
雑収入	22,729,570		
前受金収入	141,739,000		
その他の収入	22,350,597	[予備費]	-----
資金収入調整勘定	△ 163,738,510	資金支出調整勘定	△ 34,303,785
前年度繰越支払資金	2,057,809,069	翌年度繰越支払資金	2,181,766,913
収入合計	3,140,554,601	支出合計	3,140,554,601

3. 「事業活動収支計算書」の概要

当該会計年度の活動に対する事業活動収入と事業活動支出の内容及び基本金組入後の均衡の状態を明らかにし、固定資産の経過的価値の減少（減価償却額）や将来的な負債を考慮した計算書で、学校法人の財政的な経営状況を表すものです。企業会計の「損益計算書（P/L）」に相当します。

主な収入（科目説明）

寄付金	（学校法人への寄付による収入・事業活動収入の部には現物による寄付も含まれる）	：	31,230 千円
付随事業収入	（学生寮に係る寮費納付金の収入や受託事業の収入）	：	8,052 千円
基本金組入額	（当該年度に取得した施設・設備等の額及び将来に向けて積み立てる額等）	：	△57,520 千円
事業活動収入の部合計		：	985,155 千円

主な支出（科目説明）

減価償却費	（既存の建物・土地・備品等の固定資産に係る償却費用）	：	128,201 千円
資産処分差額	（保有資産の除却に係る期末簿価を計上）	：	396 千円
事業活動支出の部合計		：	948,788 千円
基本金組入前当年度収支差額		：	36,367 千円
当年度収支差額		：	△21,154 千円

事業活動収支計算書

(単位；円)

収入の部		支出の部	
科目	30年度決算額	科目	30年度決算額
教育活動収入	979,217,472	教育活動支出	948,392,179
教育活動外収入	3,939,495	教育活動外支出	0
特別収入	1,997,945	特別支出	396,055
		[予備費]	0
事業活動収入	985,154,912	事業活動支出	948,788,234
		基本金組入前当年度収支差額	36,366,678
		基本金組入額合計	△57,520,370
		当年度収支差額	△21,153,692
		前年度繰越収支差額	△208,398,260
		翌年度繰越収支差額	△229,551,952

4. 「貸借対照表」の概要

当該会計年度末の財務状況（運用形態と調達源泉）を明らかにし、財政状態の健全性を表すものです。

企業会計でいえば「貸借対照表（B/S）」に相当します。

固定資産（校地、校舎等建物、及び備品、図書等）	:	4,298,445千円
流動資産（現金及び預貯金等）	:	2,193,703千円
固定負債（退職給与引当金）	:	220,111千円
流動負債（未払金、前受金等）	:	182,162千円
基本金の部合計（財政的な基盤を示す額、将来への資金）	:	6,319,426千円
繰越収支差額（資産から負債と基本金を差引いた額）	:	△229,552千円

貸借対照表

平成31年3月31日 現在

(単位；円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	4,298,444,832	4,266,319,284	32,125,548
流動資産	2,193,702,725	2,168,840,035	24,862,690
資産の部合計	6,492,147,557	6,435,159,319	56,988,238

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	220,110,652	189,436,100	30,674,552
流動負債	182,162,416	192,215,408	△10,052,992
負債の部合計	402,273,068	381,651,508	20,621,560

純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	6,026,226,441	5,988,706,071	37,520,370
第2号基本金	120,000,000	100,000,000	20,000,000
第3号基本金	101,200,000	101,200,000	0
第4号基本金	72,000,000	72,000,000	0
繰越収支差額	△229,551,952	△208,398,260	△21,153,692
純資産の部合計	6,089,874,489	6,053,507,811	36,366,678
負債及び純資産の部合計	6,492,147,557	6,435,159,319	56,988,238

5. 有価証券の時価情報

(単位：円)

種 類	当年度(平成31年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表 計上額を超えるもの	100,000,000	100,574,552	574,552
(うち満期保有目的の債券)	(0)	(0)	(0)
時価が貸借対照表 計上額を超えないもの	201,200,000	178,660,000	△22,540,000
(うち満期保有目的の金銭信託)	(100,000,000)	(98,260,000)	(△1,740,000)
合 計	301,200,000	279,234,552	△21,965,448
(うち満期保有目的の債券・金銭信託)	(100,000,000)	(98,260,000)	(△1,740,000)
時価のない有価証券等	—		
有価証券 合計	301,200,000		

6. 主な施設設備の整備状況

会計区分	内容	金額
教育研究用機器備品	図書館収容什器、プロジェクター 他【176点】	32,346千円
管理用機器備品	電話交換機【1点】	447千円
図 書	研究用、図書館用、製本雑誌【1,389冊】	2,368千円

7. 主な事業計画の履行状況

事業計画内容	予算措置(千円)	達成度状況
建学の精神の具現化への諸活動	1,000	◎
基本金組入れ(校地取得計画)	20,000	◎
役員に係る「退職給与引当金」の新規繰入れ	13,058	◎
学内公募による教育改革取り組みへの支援	1,000	◎
教育研究活動の活性化(学長経費・学部長経費等)	2,000	○
学長方針下における国際交流分野の取組強化	5,500	◎
学内新組織の稼働	2,000	◎
学修効果向上に向けたキャンパス整備	32,000	◎
大学機関別認証評価(第三者評価)受審	4,000	◎
継続的な学修支援活動の推進(リメディアル教育等)	1,500	○
被災地支援に係る諸活動の継続	1,200	◎
青少年育成および国際保健医療協力に係る寄付活動	1,400	◎
大学改革推進事業(IR活動、大学アドミニストレーター養成他)	2,000	◎
大学院生教育研究助成金	2,000	△
実習体制の充実	1,500	◎

達成度状況 … 予算執行 (95%以上) / ◎

予算概ね執行(80%以上) / ○

執行未了など(80%未満) / △

8. 大科目の経過年度比較表 —平成26年度～平成30年度—

資金収支計算書

(単位；千円)

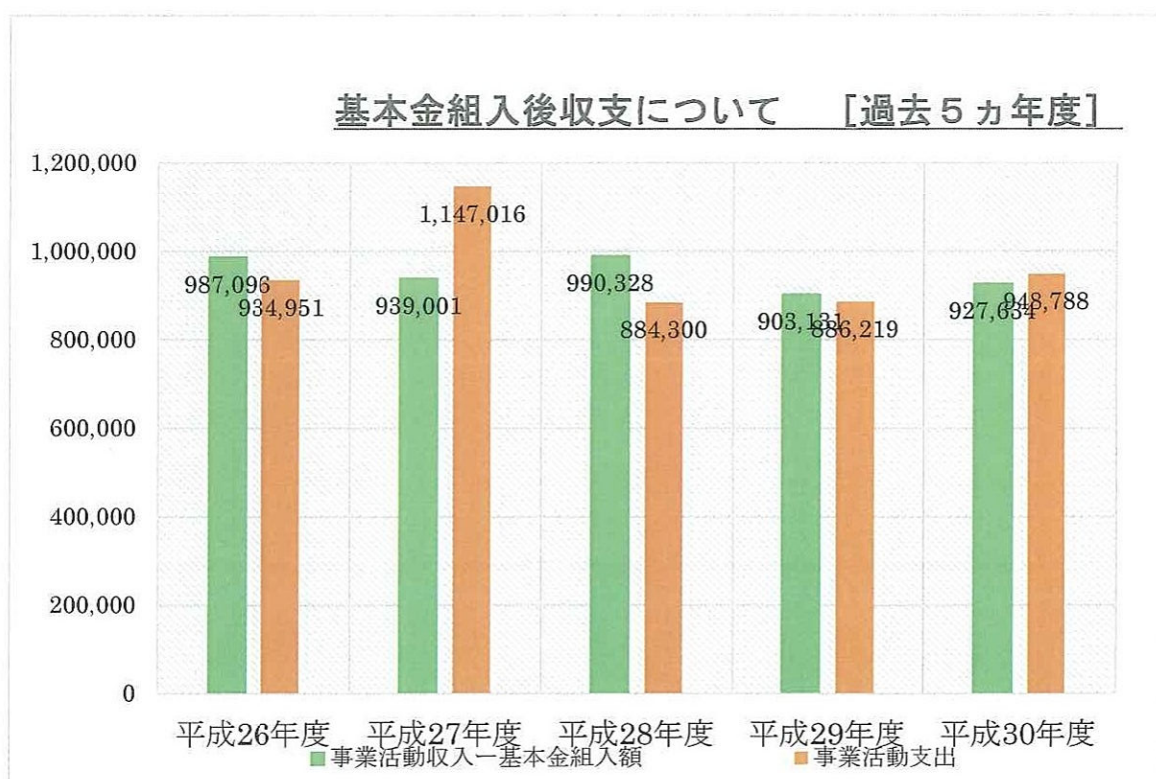
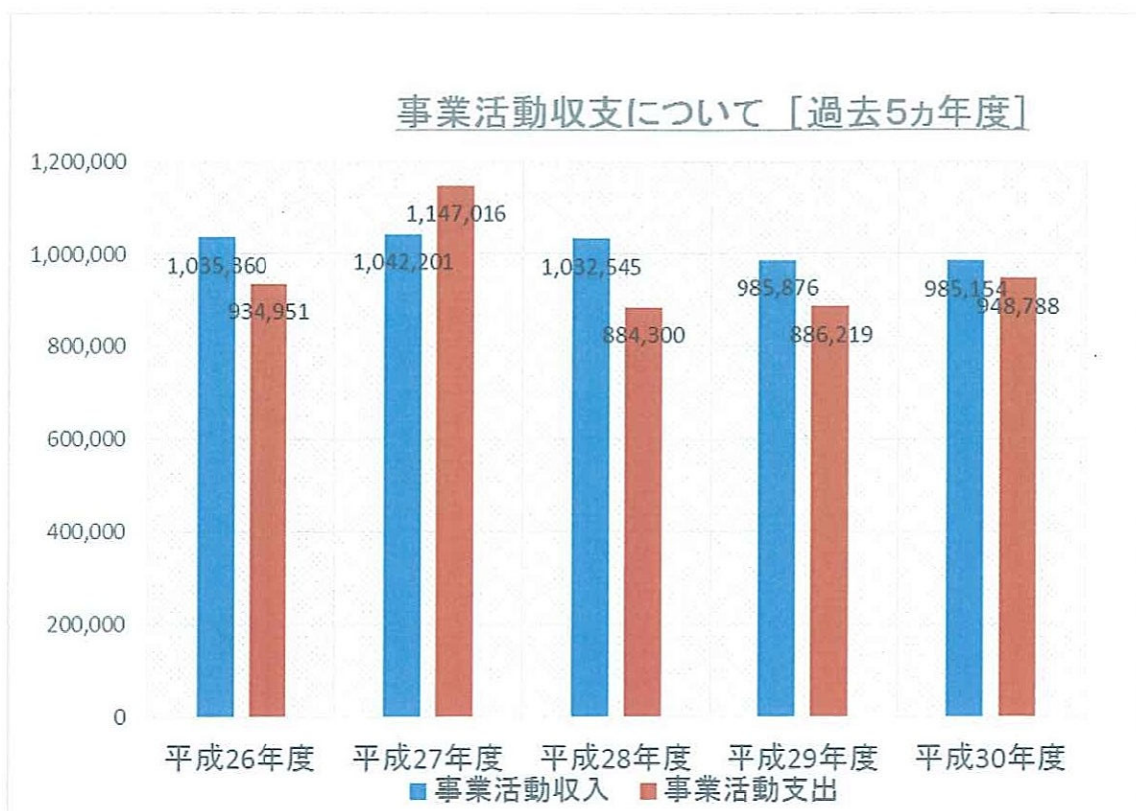
収入の部	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
学生納付金収入	802,108	815,499	798,911	785,139	784,380
手数料収入	13,013	12,923	11,900	11,097	11,500
寄付金収入	30,928	31,219	30,200	33,395	31,230
補助金収入	124,190	97,706	113,768	96,010	120,563
資産売却収入	0	0	0	0	100,000
付随事業・収益事業収入	17,961	26,004	30,366	21,557	8,052
受取利息・配当金収入	5,189	6,094	6,437	4,554	3,939
雑収入	36,046	47,467	35,336	33,072	22,730
前受金収入	140,529	140,265	136,636	143,461	141,739
その他の収入	137,699	128,010	245,393	431,908	22,351
資金収入調整勘定	△178,004	△184,381	△171,897	△158,224	△163,739
前年度繰越支払資金	1,322,466	1,590,019	1,588,271	1,903,697	2,057,809
収入の部合計	2,452,125	2,710,825	3,025,322	3,305,666	3,140,555

支出の部	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人件費支出	569,708	558,915	529,788	520,720	547,531
教育研究経費支出	175,348	264,065	179,028	184,247	172,461
管理経費支出	73,219	73,787	68,564	65,855	69,525
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	8,667	92,981	211,059	408,358	0
設備関係支出	9,271	7,711	8,679	54,687	35,162
資産運用支出	29,490	124,800	122,100	25,200	128,000
その他の支出	28,307	31,904	31,609	29,203	40,413
予備費	—	—	—	—	—
資金支出調整勘定	△31,904	△31,609	△29,203	△40,413	△34,304
翌年度繰越支払資金	1,590,019	1,588,271	1,903,697	2,057,809	2,181,767
支出の部合計	2,452,125	2,710,825	3,025,322	3,305,666	3,140,555

事業活動収支計算書

		(単位：千円)					
教育活動収支	事業活動収入の部	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		科目					
	学生納付金	802,108	815,499	798,912	785,139	784,380	
	手数料	13,013	12,923	11,900	11,097	11,500	
	寄付金	32,887	32,515	30,200	33,395	31,230	
	経常費等補助金	124,190	97,706	113,768	96,010	120,563	
	付随事業収入	17,961	26,004	30,366	21,557	8,052	
	雑収入	40,012	51,460	39,999	33,072	23,492	
	教育活動収入計	1,030,171	1,036,107	1,025,145	980,270	979,217	
	事業活動支出の部	科目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	人件費	565,221	571,182	535,891	521,303	578,206	
	教育研究経費	276,982	352,356	262,073	278,834	281,431	
	管理経費	92,578	90,604	85,573	85,228	88,755	
	徴収不能額等	0	0	0	0	0	
	教育活動支出計	934,781	1,014,142	883,537	885,365	948,392	
	教育活動収支差額	95,390	21,965	141,608	94,905	30,825	
						(単位：千円)	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	受取利息・配当金	5,189	6,094	6,437	4,554	3,939	
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0	
	教育活動外収入計	5,189	6,094	6,437	4,554	3,939	
	事業活動支出の部	科目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	借入金等利息	0	0	0	0	0	
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	
	教育活動外支出計	0	0	0	0	0	
	教育活動外収支差額	5,189	6,094	6,437	4,554	3,939	
	経常収支差額	100,579	28,059	148,045	99,459	34,764	
特別収支	事業活動収入の部	科目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	資産売却差額	0	0	0	0	0	
	その他の特別収入	0	0	963	1,052	1,998	
	特別収入計	0	0	963	1,052	1,998	
	事業活動支出の部	科目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	資産処分差額	170	132,874	763	854	396	
	その他の特別支出	0	0	0	0	0	
	特別支出計	170	132,874	763	854	396	
	特別収支差額	△ 170	△ 132,874	200	198	1,602	
	[予備費]	0	0	0	0	0	
	基本金組入前当年度収支差額	100,409	△ 104,815	148,245	99,657	36,366	
	基本金組入額合計	△ 48,264	△ 103,200	△ 42,217	△ 82,745	△ 57,520	
	当年度収支差額	52,145	△ 208,015	106,028	16,912	△ 21,154	
	前年度繰越収支差額	△ 535,827	△ 483,682	△ 331,339	△ 225,310	△ 208,398	
	基本金取崩額	0	360,359	0	0	0	
	翌年度繰越収支差額	△ 483,682	△ 331,338	△ 225,311	△ 208,398	△ 229,552	
	(参考)						
	事業活動収入計	1,035,360	1,042,201	1,032,545	985,876	985,154	
	事業活動支出計	934,951	1,147,016	884,300	886,219	948,788	

【※平成26年度は旧会計基準の科目にて作成】



※単位：千円

貸借対照表

(単位:千円)

資産の部	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
固定資産	4,652,889	4,350,887	4,393,936	4,266,319	4,298,445
流動資産	1,613,063	1,819,508	1,925,163	2,168,840	2,193,703
資産の部合計	6,265,951	6,170,395	6,319,099	6,435,159	6,492,148

負債の部	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
固定負債	170,484	182,751	188,853	189,436	220,111
流動負債	185,048	182,040	176,395	192,215	182,162
負債の部合計	355,532	364,791	365,249	381,651	402,273

純資産の部	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
基本金	6,394,102	6,136,943	6,179,161	6,261,906	6,319,426
第1号基本金	5,601,102	5,310,743	5,525,961	5,988,706	6,026,226
第2号基本金	730,000	660,000	480,000	100,000	120,000
第3号基本金	0	101,200	101,200	101,200	101,200
第4号基本金	63,000	65,000	72,000	72,000	72,000
繰越収支差額	△483,682	△331,339	△225,310	△208,398	△229,552
翌度繰越収支差額	△483,682	△331,339	△225,310	△208,398	△229,552
純資産の部合計	5,910,420	5,805,604	5,953,851	6,053,508	6,089,874
負債及び純資産の部合計	6,265,951	6,170,395	6,319,099	6,435,159	6,492,148

【※平成26年度は旧会計基準の科目にて作成】

9. 主な財務比率の経過年度比較表

比 率	算式(×100)	平成26年度 (決 算)	平成27年度 (決 算)	平成28年度 (決 算)	平成29年度 (決 算)	平成30年度 (決 算)
人件費比率 ★	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	54.6%	54.8%	51.9%	52.9%	58.8%
教育研究 経費比率 ☆	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	26.8%	33.8%	25.4%	28.3%	28.6%
管理経費 比率 ★	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	8.9%	8.7%	8.3%	8.6%	9.0%
事業活動収 支差額比率 ☆	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	9.7%	-10.1%	6.8%	10.1%	3.7%
基本金組入 後収支比率 ★	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{〈事活収入-基本金組入額〉}}$	94.7%	122.2%	97.4%	98.1%	102.3%
学生納付金 比率 —	$\frac{\text{学生納付金}}{\text{経常収入}}$	77.5%	78.2%	77.4%	79.7%	79.8%
寄付金比率 ☆	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	3.2%	3.1%	2.9%	3.4%	3.2%
補助金比率 ☆	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	12.0%	9.4%	11.0%	9.7%	12.2%
基本金組入 比率 ☆	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	4.7%	9.9%	4.1%	8.4%	5.8%

☆：高い

★：低い値が良い

—：どちらともいえない

【※平成26年度は旧会計基準の科目にて作成】

10. 平成30年度決算総評

本年度における事業活動収入計は、985,154,912円となりました。収入の内訳としては、授業料、入学金等の「学生納付金収入」が784,380,000円と約8割を占め、ついで「補助金収入」が120,563,000円と約1割となっております。

支出につきましては、「人件費」が578,205,621円、「教育研究経費」281,431,129円及び「管理経費」88,755,429円などを主なものとして、事業活動支出計が、948,788,234円となっております。

その結果、「基本金組入前当年度収支差額」が36,366,678円となり、平成30年度単年度として収入超過（黒字）となりました。

本年度における「補助金収入」が予算比で23百万円増となっておりますが、これは私大経常費補助金における増減率が大幅に好転したことが大きな要因です。その理由としては、前年度における図書館新築関連の高額な支出が影響しております。また、支出の部につきましては、役員に係る「退職給与引当金」を約26百万円新たに繰入れました。

さらなる学修環境の充実に向け、今後も堅実な財政計画とその適正な執行管理により、安定的な収支状況を確認し、財政基盤の健全化に施策的に取り組んでまいります。

学校法人聖マリア学院

聖マリア学院大学 看護学部／専攻科助産学専攻
聖マリア学院大学大学院 看護学研究科

〒830-8558

福岡県久留米市津福本町4 2 2 番地

TEL 0942-35-7271 (代表)

FAX 0942-34-9125

<http://www.st-mary.ac.jp/>